

高校生はもちろん、小学生・中学生も今から大学等への進学や就職に備えよう

— 高校卒業後の進学・就職に備えて万全の準備を —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : なぜ、高校生だけでなく、小学生・中学生も高校卒業後の進路を考えたほうがよいのですか。

A : (1) 第 2 次世界大戦以降の最大の危機であるコロナ禍が終息したあとは、世の中の様相が一変して、一気にデジタル化(DX)や規制改革、グローバル化が進むと思われるからです。
(2) そうすると、皆様が高校卒業後に進学する大学・就職する企業や職場などの様相も一変。今までにない大学や企業や職場が出現します。
(3) そうであっても、小学校・中学校・高校で今学んでいるすべての教科の大切さは増えこそすれ、減ることはありません。コロナ禍後は新しい世の中に入りますので、小学校・中学校・高校で今学んでいる内容を基礎・基本にして、新しく学ばなければならないことが今までの数倍、数十倍、数百倍も増えます。ですから、高校生になってから準備をしたのでは間に合いません。小学生・中学生のうちから高校卒業後の進路に備え、本気で準備をすべきと考えます。

Q 2 : では、お伺いします。コロナ禍が終わったあと、日本や世界はとなると考えますか。

A : (1) デジタル化(DX)とグローバル化が一気に進みます。皆様が高校卒業後に進学する大学・短期大学・専門学校・専修学校での学び方や、就職したときの働き方が一変します。大学はじめすべての学校での授業は、オンラインがリアル授業や研究会(ゼミ)に取って代わります。職場もオンライン(リモートワーク)がリアル職場に取って代わります。
(2) その場合には、小学校・中学校・高校で学んだことを基礎・基本として、大学などでの教育や研究・職場での仕事がどんどん進み、誰も助けてくれません。
(3) つまり、高校卒業後は、自己責任・自助努力、すべて自分の力で行動することになります。

Q 3 : それに備え、小学校・中学校・高校時代に身に付けておいたほうがよいことは何ですか。

A : (1) 「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」、つまり、開倫塾の学習目標である「自己学習能力(自分で学習する能力)」です。
(2) この中には、「自覚をもって学ぶこと」「効果の上がる学習方法を身に着けること」「目標に向かって長い時間勉強し続けること」も含まれます。
(3) すべての前提は、「読解力」を身に着けることです。

Q 4 : 何だか開倫塾でいつも教わっていることに似ていますね。

A : (1)その通りです。開倫塾での「学校の勉強の補習」、「定期試験対策」、「3大検定(英検・漢検・数検)」、「受験勉強」は、高校卒業後の大学などでの教育や研究・職場での仕事に、すべて役に立ちます。

(2)ですから、1つ1つをしっかりとやり終えて、小学校では小学校の、中学校では中学校の、高校では高校の学習内容をきちんと身に付けてくださいね。

(3)開倫塾の「自己学習能力の育成」には、「効果の上がる学習の仕方(学習の3段階理論)」や「自覚をもって学ぶこと」、自己学習スペースでの「長時間自己学習」、「読解力(辞書・新聞・読書)」などが含まれています。すべてが高校卒業後に大学で教育や研究をする際、職場で仕事をする際に役に立ちます。

Q 5 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)コロナ禍後の社会は、これは必ずこうなるという「正解」「答え」「解」のない社会です。何が問題・課題なのかが、はっきりしない社会です。

(2)学校や職場で学んだことを基礎・基本にして自分自身で、また、人々と力を合わせて問題・課題を発見し、論ずべき点を整理し、取り組まなければなりません。

(3)例えば、SDGsの17項目は、人類が2030年までに取り組まなければならない大事な課題です。2021年はこの本格的な取り組みの始まりの年といえます。高校卒業後も見据えて、毎日の勉強にしっかり取り組み、将来に備えましょう。

今年もどうかよろしく願いいたします。